

いとおかし司書の部屋

祖父と源氏物語

紫式部を題材にした大河ドラマも佳境に差しかかってきました。ドラマ効果か、今年は源氏物語や紫式部関連の本の貸し出しがとても多いです。今回は源氏物語の研究者、池田亀鑑（いけだきかん）について少しお話ししようと思います。

池田亀鑑は私の祖父です。祖父は明治29年鳥取県で生まれました。亀鑑は変わった名ですが、池田家は代々長男が亀を襲名していて、祖父の名は一族の鑑たれとの期待を込めて名付けられたそうです。

東京高等師範学校から東京大学に進学しましたが、師範学校の卒論が「紫式部日記の研究」東大の卒論が「宮廷女流日記考」で、いずれも祖父の研究の礎となりました。

大正15年から東京大学で教鞭をとる傍ら、東奔西走し源氏物語の写本を探し求め、写本の異文を比較評価して、作品の原型（祖本文の形態）を明らかにする研究をしました。収集した写本は貴重な資料で、パソコン等無い時代ですので、研究には多くの人手と時間を必要としました。このため、自宅二階を研究室として開放し、大勢の若い研究者と共に作業に没頭しました。祖父は文字通り学究で、常に机に向かっていて、いつ眠っていたのだろう、と後年父がよく話していました。後に、この研究成果は「源氏物語大成全8巻」として出版されました。祖父の業績は、今でも源氏研究の基礎となっています。

過度な研究からくる過労の為か、4回脳溢血で倒れ、最期は心筋変性症で亡くなりました。今年の源氏物語ブームを冥土の祖父はどう感じているだろう、とドラマを見ながらふと思いました。（K）

おすすめ本

『古典学入門』
池田亀鑑/著 岩波書店（中央図書館所蔵）
『平安朝の生活と文学』
池田亀鑑/著 筑摩書房（駒込・目白図書館所蔵）
『随筆文学』
池田亀鑑/著 至文堂（X914.3 イ）
『紫式部日記』
池田亀鑑/著 至文堂（中央図書館所蔵）

10月の行事

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
新刊 お話し会	休館					
13	14	15	16	17	18	19
新刊 お話し会		赤ちゃん お話し会		大塚歴史さんぽ		
20	21	22	23	24	25	26
新刊 お話し会					休館	
27	28	29	30	31		
新刊 お話し会						

サンシャインシティでお話しします。
14時～と15時からの2回です。

＜日曜＞新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！
毎週11時から、幼児から
小学生低学年向けのお話し会が
あります。

＜火曜＞第3火曜日11時から、
赤ちゃん向けお話し会
があります。

編集後記

10月1日都民の日。長くて暑い夏の
終わりと共に、年末がヒタヒタと
近づいている気が…
やり残しの無いよう、計画立てて
日々を過ごしていきたいと、改めて
思っています。（M）

すがもらいぶらり

2024年10月号(10月1日巣鴨図書館発行)

今年の夏も、猛暑でした。暑さの中、図書館に足をお運びいただき、ありがとうございました。10月に入り、やっと日中のお散歩を楽しめる気候になってきました。そんな秋の日に巣鴨図書館では、一般の方向けの新たな街歩きの企画「大塚歴史さんぽ」の実施を予定しております。（詳細は下記ポスターのとおり。）ボランティアガイドは南大塚地域文化創造館等でも街歩き企画を多数、行ってきた「大塚物語る」さんです。大塚周辺の地域の良さを再発見してみませんか。

なお、児童担当も図書館を飛び出してサンシャインシティでお話し（10月28日）を行う予定です。

10月は図書館の外での企画が続きます。ぜひご参加ください。（館長）



「大塚物語る」さんのご協力で、初めて実施する街歩き。この機会に、関連する資料のご紹介もできるよう、準備を進めています。

たくさんの方々のご参加お待ちしております。
お天気に恵まれますように！！（大塚歴史さんぽ担当）

じぞうさんぽ 【突撃！ としまの図書館】

今年度の、「じぞうさんぽ」は、知っているようで知らない地元「豊島区の図書館」をめぐります。
第4回目は、「駒込図書館」です。

＜桜の息吹を感じる図書館＞

駒込図書館は昭和56年8月に開館し、平成28年に改修されました。JR駒込駅の北口を出てすぐ¹⁾、染井吉野桜記念公園²⁾を通り抜けると右手側に案内看板³⁾が見えてきます。複合施設の3階部分、ワンフロアが図書館です。

駒込はソメイヨシノ発祥の地ということで、駒込図書館は桜に関連する特集展示やイベントを盛んに行っています。図書館内の中央には先月26日まで、「さくらイラストポストカードコンテスト2024」の入賞作品11点が展示されていました⁴⁾。このコンテストは、駒込がソメイヨシノ発祥の地だと知ってもらうために駒込図書館で2022年から毎春開催しています。館内に置かれたデジタルサイネージ⁵⁾では応募作品全109点が順に表示されています。大きな画面で様々な桜のイラストを眺められるなんて素敵です。過去のものも含めた受賞作品はTRC豊島電子図書館で見られます。同じく館内中央、お隣にはショーケースが置かれています⁶⁾。こちらは桜や植木に関する史料の展示です。側には展示にまつわる図書が特集として置かれ、年4回の更新の度に「駒込の花」というリーフレットが作成されています。今回取材で訪れた際には、染井遺跡から出土された土器・陶器・磁器の植木鉢3点が展示されていました。遺跡からの出土品を見られるとは、博物館のようです。この他にも、桜関連の資料を重点的に収集しており、「ソメイヨシノライブラリー」⁷⁾という書棚も常設されています。

児童コーナーには駒込図書館のキャラクター・こまちゃん⁸⁾の姿が！皆さんはもう図書館キャラクターの新しいプロフィールは見ていただけましたか？つぶらな瞳にふさふさの毛並み、とても愛くるしい佇まいでした。児童書架の端には巣鴨図書館でも馴染みの深い「りんごの棚」⁹⁾を発見。りんごの棚ができるのは区内図書館では巣鴨・中央に次いで3館目。伺った際はちょうど設置された直後でした。作成にあたり巣鴨図書館児童コーナーのりんごの棚も参考にされたそうで、巣鴨図書館の司書としては誇らしく思いました。

コンパクトな図書館ですが、蔵書も充実しており閲覧席もしっかり設けられていて、ワンフロアと聞いて想像するより広々と感じられます。

どの季節でも桜の息吹を感じられる駒込図書館、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

(K)

1) JR駒込駅北口の桜柄ポスト



2) 染井吉野桜記念公園



3) 案内看板



4) 「さくらイラストポストカードコンテスト」
入賞作品展示



5) デジタルサイネージ



6) ショーケース展示



閉館音楽



♪ Around the World
♪ SOMEBODY LOVES ME

♪ Goliwogg's Cake-walk
♪ くるみ割り人形の花のワルツ

7) ソメイヨシノライブラリー



8) こまちゃん



9) りんごの棚



館内案内図



駒込図書館についてもっと知るなら

『駅から5分 1』
くらもちふさこ／著 集英社
『花咲かー江戸の植木職人ー』
岩崎京子／著 石風社
『こまごめ通信 1巻』
こまごめ通信編集部／著 駒込を楽しむ隊
『こまごめスピリットーサクラタイムズ新駒込人・駒込人アーカイブー』
豊島区立駒込図書館／著 豊島区立駒込図書館